

## 学長特別講義を受講された皆さんへ

2024.04.17

長野大学 学長 小林淳一

皆さんのレポートを読んでまず初めに感じたことは、皆さん私の話を聞いて自分自身を見つめなおしてみたことです。自分を様々な角度から分析し反省しています。このことは大変重要です。高校までは決められた教育課程に従って、それをこなしてきています。そこからはみ出したり、異議を唱えたりすることはなかったと思います。むしろそのような教育がなされたのではないかと思います。それを当たり前と皆さんは考えていたのではないのでしょうか。

私の話は、「自分の価値を考え、磨きなさい。」ということですから、「え!」と思い、そんなこと考えたことがなかったことに気づき、自分を振り返ってみたということになります。この気づきが、大学生活をこれから過ごす皆さんにとっては、マインドを変えるスタート地点に立ったことになります。これからは、自分自身で自分と相談し、どんな目標に向かっていくべきか、常に考えていくことになります。しかし、この思い、感覚は、日常生活の中で時間と共に薄れていきます。定期的に思い出す方法を自分なりに考えなければなりません。私は、目標を壁に貼り常に見るようにしてはどうかと言いました。あるいは、家族や身近な人に自分の目標を言っておき、自分を追い込むようにするのも良いと思います。

皆さんの感想文を読むとかなり具体的に書いていますので、今の段階ではこれで良いと思います。しかし、次のステップとしては、その目標に向かって第一歩をどう踏み出すか、さらにその次は、道筋を考えていくことが大事です。そして半年、1年後にチェックポイントをもうけ、見直してやることをして下さい。前の大学で調査をしてみました、3割ぐらいの人しか、このプロセスが出来ていませんでした。でも心配することはありません。それが現実です。だとしたら、再度目標を見直す、あるいはもっと低い目標からスタートするように計画を練り直すようにしてみてもどうですか。

以下には、私のプレゼンに対して皆さんの反応をまとめてみました。

### 1. 自己紹介

- ・新幹線には当たり前のように乗っていますが、どのような技術開発をしているのか、考えたことはなかったと思います。従って初めて聞く話で、新鮮に感じた人が多かったと思います。本学の学長がどんな経験をしてきたか、ちょっと興味があったと思います。すごく技術に感動する人もいます。

### 2. これからの行動基準

- ・高校でも持続可能な社会の実現について話を聞いていたことと思います。でもこれは単なる知識として処理するものではありません。入学式でも言いましたが、環境に配慮する行動は、すべての行動の基本だと思います。大勢の皆さんが反応していました。私たちが暮らしている地球についてもっと考えるべきであるという考え方が年々広がってきています。嬉しいことです。

### 3. 自分の価値を磨くこと、夢を持ち実現に向け努力すること

・やはり私の話の中で、ここはほとんどの人が反応していました。私も最も皆さんに伝えたかったところです。自分の価値とは何だろう、自分を見つめながら、得意な分野、不得意な分野、それぞれ分析しています。そして積極的にこの価値を高めたいと具体的に書いている人が大勢いました。夢を持ち実現に向け努力することにもたくさん感想が書かれていました。小さな目標を立て目標をクリアする楽しさを体感したいと言っていました。長野大学に入ってよかったと思えるように、自ら進んで行動してください。

### 4. 大学で身につけるべきこと

・ここも大勢の人が反応していました。ノートをとること、質問することの本質を理解してもらえたと思います。少しでも実行することによって授業から学ぶが増えますし、授業が楽しくなるはずです。主体的に学ぶ学修方法に変えていくことが求められています。本学には、専門ゼミナール(あるいはプロジェクト研究)がカリキュラムに組み込まれています。ここで皆さんは地域に出て地域の皆さんと話し合う中で課題を共有し、課題解決に向け主体的に学ぶことを経験します。本学の大きな教育の特徴です。

### 5. 長野大学における大学改革

・長野大学は、公立化して7年が経ちました。設置者である上田市と中期計画を立て、それに沿って大学が運営されています。その中で、環境情報科学部(仮称)、地域経営学部(仮称)の2026年度開設に向け計画を進めています。また社会福祉学部についても社会のニーズの変化に対応するため社会福祉学の将来構想も検討しています。

新たに建設する新棟には、皆さんも使える様々な施設ができますので、楽しみにしててください。

以上